



やってみよう！！

あなたの中の「固定的役割分担意識」チェック

男性、女性の生き方を固定的にとらえようとする意識、例えば「男は仕事、女は家庭」というように、個人の能力や資質とは関係なく性によって役割を決めようとする考え方を「固定的役割分担意識」と言います。

この「固定的役割分担意識」は、私たちの行動や社会の制度、慣行の中に根強くあり、社会のあらゆる分野で意識的あるいは無意識に見につけていきます。

このような意識は、女性の主体的な生き方を妨げるだけでなく、男性の生き方も束縛します。

ここでは、あなたの中の「固定的役割分担意識」がどのぐらいかチェックしてみましょう！

次の質問であなたはいくつ「はい」と思うことがありますか。

	はい
1 「男のくせに」「女のくせに」「男なんだから」「女なんだから」という言葉を日常的によく使う。	()
2 子どもは、女の子ならば優しく、男の子ならばたくましく育てる方がよいと思う。	()
3 女性が家事をやるのは当たり前のことだと思う。	()
4 結婚したら、男性の収入で家計を支えるべきだ。	()
5 男性が洗濯物を干したり、スーパーで買い物をする姿を見かけると、気の毒だとか、カッコ悪いと思う。	()
6 女性に大きな仕事は任せられないと思う。	()
7 男性が育児休暇を取るのは情けない。	()
8 将来のため男の子には勉強をがんばってほしいが、女の子はそこそこでいい。	()
9 女性が嫌がっても、その場が盛り上がれば性的ジョークを言ってもよい。	()
10 自治会やPTAなどの会長には男性になった方がよいと思う。	()

「はい」と答えた数 () 個

「はい」と思ったことはいくつありましたか。

0～3個の人	自分を大切にするように周りの人にも思いやりを持って接するあなた。誰もが輝く日々を送れるよう、多くの人にあなたの考えを伝えてください。
4～7個の人	様々な場面で、少し変だなと感じているあなた。ささいな疑問にも立ち止まり、もう一度考えてみましょう。小さな積み重ねが、住みよい男女共同参画社会をつくれます。
8個以上の人	従来 of 慣習やしきたりに縛られがちなあなた。「男らしさ」「女らしさ」で区別せず、「私らしさ」で考えてみませんか？きっと新しいあなたが見えてくるはずです

男女共同参画はお互いの人権を尊重することから始まります。

男女のあり方や社会のシステムなどを敏感な視点で見直してみましょう。